



ニュースリリース 平成 25年 2月 13日

産学官金連携「第3回ひざづめミーティング in NIMS」の開催について



常陽銀行(頭取 寺門 一義)と独立行政法人 物質・材料研究機構※(理事長 潮田 資勝)は、このたび、産学官金連携「第3回ひざづめミーティング in NIMS」を開催しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本イベントは、当行が展開する『常陽地域復興プロジェクト「絆」』の一環として、地域のものづくり企業の競争力強化、新たな企業価値の創出に向けて取り組む「next X(ネクストテン)」活動に基づき、NIMSと連携し、ものづくり企業の技術課題解決や、新技術開発に取り組むものです。

当行は、今後とも、お客さま・地域の復興と成長に貢献するため、『常陽地域復興プロジェクト「絆」』を全力で推進し、さまざまな取り組みを展開してまいります。

※独立行政法人 物質・材料研究機構は、NIMS(National Institute for Materials Science)を略称としています。

記

1. 名 称	産学官金連携「第3回ひざづめミーティング in NIMS」
2. 日 時	3月19日(火) 13:30~16:30
3. 場 所	独立行政法人 物質・材料研究機構 並木地区 住所 つくば市並木1-1
4. 概 要	(ひざづめミーティング) ・NIMSが推薦する産学連携に積極的な先生方15名が参集し、8つの分野に分かれて、地域のものづくり企業と新技術や新製品開発等について「ひざづめ」(少人数)で意見交換をします。 ・意見交換後は、当行とNIMSが連携し、ものづくり企業の具体的な技術相談、共同研究、分析評価等に取り組みます。
5. 主 催	株式会社 常陽銀行、独立行政法人 物質・材料研究機構
6. 後 援	茨城県、つくば市
7. お申込方法	当行本支店にて受付。 ※ 各テーマごと5社限定、合計40社(先着順)
8. 参 加 費	無 料

以 上

ものづくり企業のみなさん、
物質・材料研究機構（NIMS：ニムス）
の先生と「ひざづめ」で意見交換を
してみませんか？ 名づけて、



産学官金連携

第3回

ひざづめ ミーティング。

in NIMS | 無料 |

2013年 3月19日(火)

13:30～16:30 (開場 13:00)

独立行政法人 物質・材料研究機構 並木地区
茨城県つくば市並木 1-1

次の10年を協創します、
お客さまと共に。

next X

10年ロードマップ協創プロジェクト「ネクストデン」

各研究部門イチ押し！ 15人のひざづめ先生

常陽銀行が、物質・材料研究機構（NIMS：ニムス）と連携して開催する産学官金連携「第3回 ひざづめミーティング。in NIMS」。各研究部門からイチ押しの若手＆産学連携に積極的な先生方が参集し、地域のものづくり企業のみなさまが抱える技術的課題や連携を希望するテーマについて、「ひざづめ」で意見交換いたします。技術相談、共同研究、分析評価など課題解決と連携のチャンスです。ぜひご参加ください。

加工技術

複合材料・溶解鑄造

ないとう きみよし
内藤 公喜
ハイブリッド材料ユニット
複合材料グループ
主任研究員



高分子系複合材料（FRP等）やハイブリッド材料（金属やセラミックスと高分子材料／高分子系複合材料を組み合わせた材料や各種材料の接着剤を用いた接着接合等）の製作や機械的特性評価にお悩みの企業様、是非ミーティングにいらしてください。ディスカッションしましょう！

いわさき さとし
岩崎 智
材料創製・加工ステーション
主任エンジニア



金属材料研究において、特殊な研究素材の入手や製作には困難が伴うものです。そこで、NIMSでは材料研究のために、NIMS共用設備を利用した溶解技術&塑性加工技術などの相談を受け付けております。

粉末冶金

みながわ かずみ
皆川 和己
構造材料ユニット
構造化グループ
主幹研究員



粉末冶金用の金属粉末製造法とそのメカニズムについて研究開発を行っております。近年、従来の粉末製造法では製造が不可能であった粒子径の揃った微細球状粉末（20μm以下）を効率よく製造できるハイブリッド噴霧法を研究開発しました。金属粉末の製造や金属粉末を利用する技術についてご相談下さい。

塑性加工・熱処理

とりつか しろろう
鳥塚 史郎
材料創製・加工ステーション長
材料信頼性評価ユニット
材料創製・信頼性グループ
リーダー（兼務）



超微細組織をもった金属素材の研究を行っています。携帯電話用マイクロねじとして、実用化されています。

ながい ことぶ
長井 寿
ナノ材料科学環境拠点
拠点マネージャー



製造現場では思いもつかない現象が出ます。常識に囚われず柔軟に考えないと光明が見えてきません。この機会に40年の鉄鋼材料基礎研究で培った私の知恵を是非とも使っていただきたいと期待しています。よろしく。

接合・溶接

つかもと すずむ
塚本 進
構造材料ユニット
構造化グループ
NIMS 特別研究員



いくら良い材料を使っても、溶接が悪いと優れたものづくりができません。私は、レーザ溶接や鉄鋼溶接部の組織と特性について主に研究を行ってきました。これらを中心に、溶接全般について気軽にご相談ください。可能な範囲でお答えいたします。

全体コーディネータ

かただ やすゆき
片田 康行
生体機能材料ユニット
複合化生体材料グループ
NIMS 特別研究員



「ステンレス鋼がさびて困っていませんか？」
NIMSでは、Fe-Cr合金に窒素（N）を固溶させることにより、低NiのFe-Cr-N系のオーステナイト（γ）系ステンレス鋼を開発しています。この素材は、高強度、高耐食性、非磁性であり、さらに低Niの観点から、生体・医療分野への応用も期待されています。

故障解析

腐食防食

しのはら ただし
篠原 正
材料信頼性評価ユニット
腐食研究グループ
リーダー



装置や構造には多くの金属材料が使われ、多種多様な環境にさらされています。使用環境に適した耐食材料を選定し使うことは、単に腐食を防ぐだけでなく、材料の有効利用、しいては環境問題にも有効です。材料／環境の組み合わせに特有な腐食機構を把握することで、材料の信頼性向上、耐久性確保に貢献してみませんか。

あきやま えいじ
秋山 英二
材料信頼性評価ユニット
耐環境特性グループ
主幹研究員



ボルトなど高強度鋼材料へ腐食によって水素が侵入する挙動と、それが引き起こす水素脆化による破壊現象（遅れ破壊）に関する研究を行っています。腐食防食、水素脆化の問題等ありましたら是非ミーティングにて。

疲労・破壊

ふるや よしゆき
古谷 佳之
材料信頼性評価ユニット
疲労研究グループ
主幹研究員



機械工学を専攻し、金属疲労の研究を長年行っています。これまで学んできたことを役立てることができればと思っています。

はやかわ まさお
早川 正夫
材料信頼性評価ユニット
疲労研究グループ
リーダー



金属と言えば、鉄、ステンレス、銅、アルミやチタンなどを思い浮かべるでしょう。しかし、同じ鉄と言っても中身は千差万別で、特に破壊において素材差が顕在化します。疲労を例にとりて、なぜ優劣差が生じるか判り易くご説明致します。

非破壊検査

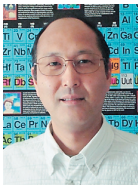
しわ みつはる
志波 光晴
材料信頼性評価ユニット
非破壊評価グループ
リーダー



非破壊による検査や材料評価についてお困りのことがあればご相談ください。非破壊検査に関しては基礎的なことは一通り対応できます。また、電磁気、超音波、音響診断については専門的に対応可能です。

化学分析

かわだ さとし
川田 哲
材料分析ステーション
主席エンジニア



組成分析、不純物分析、トレーサビリティ、標準化、試験所など化学分析に関係することのご相談、ディスカッションにいらしてください。お待ちしております。

いらい ひでお
岩井 秀夫
材料分析ステーション
主席エンジニア



私は、表面分析の装置開発から分析まで30年以上携わっています。表面に係る研究開発や故障解析等でお悩みのある方は、是非ご参加頂き、お気軽に声を上げて頂ければ幸いです。

全体コーディネータ

たぬま しげお
田沼 繁夫
中核機能部門長
材料分析ステーション長
（兼務）



材料開発における評価・分析は材料機能向上のためには欠かせないものです。特に、開発途上で必要となる故障解析は材料の重要性は言を俟ちませんが、幅広い知識・経験・技術を必要とします。このひざづめミーティングで、現場からの要望を取り入れ、真に役立つ故障解析を考えたいと思います。

産学官金連携「第3回 ひざづめミーティング。in NIMS」 お申込み用紙

ご記入の上、FAXにて送付ください。

029-300-2668

2月28日(木) 締切／先着40社 (1テーマにつき先着5社)

会社名					代表者名		
所在地	〒						
担当者名	役職	電話番号	メールアドレス		参加人数	名	
事業内容							
ご希望のテーマ	加工技術 故障解析	☐ 複合材料・溶解鋳造 ☐ 腐食防食	☐ 粉末冶金 ☐ 疲労・破壊	☐ 塑性加工・熱処理 ☐ 非破壊検査	☐ 接合・溶接 ☐ 化学分析		

興味・関心の分野やテーマ、先生へ質問・相談したい内容を、ぜひご記入ください。

ご記入いただいた個人情報は、(独)物質・材料研究機構(NIMS)、(株)常陽銀行が取得管理し、以下の目的のみに利用いたします。

① 本イベントに関連する連絡 ② (独)物質・材料研究機構(NIMS)、(株)常陽銀行からの施策などのご案内

概要

名称 産学官金連携
「第3回 ひざづめミーティング。in NIMS」

日時 2013年3月19日(火)
13:30～16:30(開場13:00)

場所 独立行政法人 物質・材料研究機構
並木地区
茨城県つくば市並木1-1

駐車場 物質・材料研究機構の駐車場を
ご利用下さい。

参加費 無料

定員 40社(お申込み先着順です)



当日スケジュール

13:30～ 主催者挨拶

14:00～ 「ひざづめミーティング。」前半(60分)

15:00～ 休憩(10分)

15:10～ 「ひざづめミーティング。」後半(80分)

16:30 終了



[主催] 株式会社常陽銀行、独立行政法人 物質・材料研究機構

[後援] 茨城県、つくば市

[参加研究者(コーディネータ及びひざづめ先生)]

独立行政法人 物質・材料研究機構より全15名

お問い合わせはこちら

TEL 029-300-2792

常陽銀行 営業推進部 総合金融サービス室 白石・関

TEL 029-860-4372

物質・材料研究機構 中核機能部門事務統括室 渡辺

銀行記入欄

店番

拠点名

CIF